

第1学年 学級活動(2)〈情報モラル〉指導案

【本時における研究の視点】

○一人一人の学びを高める:個別最適な学びの視点

自分の普段の生活の仕方を考えた上でどのようにインターネット等を使うかを考える活動は、自分の立場に合った安全なインターネット等の使い方を考え、意思決定しようとする意識の高まりにつながったか。

○つながりを大切にする:協働的な学びの視点

一人一人のインターネット等の活用について考えを伝え合う活動は、多様な意見を聞き、自分の意見を増やすことで、自分の状況に合った意思決定ができる交流の場となったか。

【情報モラル指導カリキュラム表】(〇〇〇小学校 情報モラル 指導のベースライン)

コンピュータ等で、危険な使い方をしないようにする。

1 単元名 めざせ! インターネット名人! ~楽しく 安全に~

内容(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

2 単元設定の理由

(1) 児童の実態

インターネットはとても便利である。好きな動画を見たり、離れている友達とゲームをしたり、買い物をしたりして、多様な生活ができる社会になってきた。しかし、便利である一方、様々な危険も潜んでいる。児童が保護者のスマートフォンを勝手に操作して、インターネットで商品を勝手に購入してしまったという話を聞いたことがある。スマートフォンにはあらかじめ個人情報が入力されているため、ボタンを押すだけで、不要な物を購入してしまうことになったようである。このようなことから、インターネットトラブルの低年齢化を痛感し、本学級の児童にもよく似たトラブルがあり、1年生から丁寧に指導していかなければいけないと強く感じている。

児童の実態を適切に把握するため、本学級の児童を対象にいくつかアンケートを実施した。「お家に自分が使っているタブレット端末やスマートフォンがありますか?」の問いには、68%が「ある」と回答した。すでに家庭でタブレット端末やスマートフォンを操作していることが分かった。また、「お家のタブレット端末やスマートフォン、スイッチ等を使って、操作したことがあるアプリを答えて下さい。(選択肢から選ぶ)」の問いには、YouTube が 76%、LINE が 44%、TikTok が30%、その他にも、Twitter や Instagram 等に回答した児童もいた。一つも該当しない児童はおらず、全員が様々なアプリ等でインターネットを楽しんでいることが分かった。また、「通信ゲームをしたことがありますか?」の問いには、36%が「はい」と回答した。このようにほぼ全員が何らかの形でインターネットを楽しんでいる状況で、トラブルも少しずつ耳にするようになってきた。「知らない人がゲームに勝手に入ってきた。」「お家の人に言わずに勝手に使っていた。」「ボタンを適当に押したら変な画面になった。」等、保護者からの相談もいくつかあった。インターネットの利用が当たり前になっている中、低学年の時から、自分の力で安全な使い方を考え、自主的に行動できるようにすることが大切だと考え、本単元を設定した。

(2) 本単元・本時について

本単元では、「〇〇〇小学校 情報モラル 指導のベースライン」の中の「安心・安全な情報社会」について学習していく。前述の児童の実態から、インターネットの使い方に関心をもち、危険から身を守るためにどのようなことが大切かを考え、楽しく安全にインターネットを使う方法を考え、実践しようとする態度を養いたいと考えた。

第一次では、学校放送番組「銀河銭湯パンタくん（朝も昼も夜もあそびたい!）」を視聴し、規則正しい生活の大切さを考えていく。次時で、今までの自分のタブレット端末等の使い方を振り返り、利用時間に焦点を当てて、今後の使い方を意思決定していく。

第二次では、「徳島県 情報モラル教育 サポートサイト（第3話 名前、住所、写真を公開しない）」を使用し、個人情報の大切さを考えた上で、インターネットにおいて個人情報をアップすることは危険であるということを理解させる。このことを基盤に、本時では、「楽しく 安全に」を合言葉に、インターネットの使い方を考える。始めに、インターネットの疑似体験をさせる。難しい漢字がたくさん並んだ文章を読まずにボタンを押していくと、多額な金額を請求される画面に到達するというものである。実際に、児童に疑似体験をさせることで、イメージを沸きやすくする。その体験を踏まえて、今までの自分を振り返りながら、インターネットの安全な利用の仕方を個々に見つめ直す。それらの活動から出てきた意見を友達と伝え合い、自分の考えをさらに増やして、自分に合った使い方を意思決定しようとする態度を育てたい。

第三次では、「徳島県 情報モラル教育 サポートサイト（第5話 パスワード管理）」を使用し、パスワードの大切さを学習する。実際に、授業の中でもタブレットドリルやデジタル教科書を使用しており、毎回パスワードが必要となっている。パスワードを忘れてしまい、なかなかログインできない経験もしているため、児童もイメージしやすい。絵本読み聞かせ動画チャンネル「KidsTube（アリババと40人の盗賊）」を視聴することで、さらにイメージを膨らませ、どのようにパスワードを使っていくか意思決定しようとする態度を育てたい。

事後の学習では、日々のタブレットを用いた学習の中で想起したり、意図的に場面を設定したりして確認できるようにしていく。その実践を通して、常時指導におけるインターネットを楽しく使うデジタル・シティズンシップの向上を図りたい。こうしたインターネットの安全な使い方を考えることが、児童の積極的なネットトラブル等の防止につながることを期待している。そして、現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動する力を身に付けてほしい。

3 校内研究主題との関わり

①一人一人の学びを高める

本単元では、今までの自分の生活を振り返り、タブレット端末やインターネット等の使い方を考えていく。日常生活と結び付けやすいように、「銀河銭湯パンタくん」や「徳島県 情報モラル教育 サポートサイト」等を使用する。登場人物を自分に置き換えて、「どうしてそうなってしまったのか」「自分だったらどうするか」「どうしてそうするのか」等に焦点を当てて進めていき、授業が自分たちの生活ともつながるように指導していく。まずは、日常生活で安全に過ごすために大切なことを押さえ、健康や安全に気を付けて規則正しい生活をする事の大切さについて理解させる。その上で、自分の生活の中でタブレット端末やインターネットをどのように使っていきたいかを個々に考えていく。「楽しく 安全に」をキーワードに、自分の使い方を明確にし、自分の生活に合った使い方を意思決定しやすいように支援していく。

本時では、インターネットの疑似体験をした後、自分の今までのタブレット端末やインターネットの使い方を振り返り、個々に使い方を模索していく。前時で、「銀河銭湯パンタくん」や「徳島県 情報モラル教育 サポートサイト」を使用し、日常生活で安全に生活するために大切なことを押さえておく。それらを活用し、個々の考えを深めていきたい。そして、グループで友達と考えを伝え合い、自分なりの考えを増やしていく。そうすることで、より自分の生活に合った安全な使い方を意思決定しようとする意識の高まりにつなげていくようにする。

②つながりを大切に

本単元では、全時間で全体またはグループで個々の意見を交流する場を設けている。それぞれ生活スタイルやタブレット端末等の利用経験が違う。その中で、自分に合った生活の仕方やタブレット端末等の使い方を考え、それぞれの経験値で使い方を工夫していくことが予想される。そこから、様々な意見を聞くことで、新たな考えを知ることができる。と考える。

グループ活動では、一人一人の考えを、MetaMoJi Classroom（以下「メタモジ」）を使って交流する。自分の考えを書いたページをスクリーンショットし、グループページに貼り付けることで、グループ全員の考えを一つにまとめ、それにより、声だけでなく、文字でも交流し、伝わりやすくする。友達に自分の

考えを伝える活動を取り入れ、自分の意見を増やした上で、自分に合った安全なインターネットの使い方を意思決定しようとする態度の育成を目指したい。

4 単元の目標

インターネット等を使用する時の自分なりの使い方を考え、それを実践し、「楽しく 安全に」使おうとする態度を育てる。

5 単元の評価規準 及び 情報活用能力の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、安全に生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	○自己の生活を安全にするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、積極的に課題解決に取り組み、安全な生活の仕方を考えようとしている。	○日常生活への自己の適応に関する諸課題に気付き、安全な方法などについて話し合い、自分に合った方法を意思決定して実践しようとしている。
○タブレット端末やインターネットの安全な使い方を考え、自分の立場に合った使い方を意思決定し、実践している。		

6 単元計画(全7時間)

(1) 第一次(2時間)

① どうして規則正しい生活をするのが大切なのか考えよう。

教材：NHK for School 「銀河銭湯パンタくん(朝も昼も夜もあそびたい!)」

② タブレット端末等を安全に、楽しく使う方法を考えよう。

教材：保護者アンケート調査結果

(2) 第二次(3時間) インターネットを使う時に気を付けることは何か考えよう。

① 安全な生活をするには何が大切か考えよう。

教材：NHK for School 「銀河銭湯パンタくん(おばけモールは危険がいっぱい!)」

② 個人情報大切に使う方法を考えよう。

教材：徳島県情報モラル教材 第3話「名前、住所、写真を公開しない」

③ インターネットを安全に使う方法を考える。(本時)

教材：PowerPoint「インターネット疑似体験」

(3) 第三次(2時間) なぜパスワードが大切なのかを考えよう。

① パスワードについて考えよう。

教材：NHK for School 「銀河銭湯パンタくん(こっそり使うピエールでんわ)」

② パスワードを大切に使う方法を考える。

教材：徳島県情報モラル教材 第5話「パスワード管理」, KidsTube(アリババと40人の盗賊)

7 本時の学習（単元計画 第二次 3時間目）

(1) 目標

自己の生活上の課題に気づき、インターネットを「楽しく 安全に」使用できる方法を考え、意思決定することができる。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 インターネットの疑似体験をする。【つかむ】	1 結果がどのようなになったか発表させる。 ○自分の画面を見せながら、どのように進めていったら、その画面に到達したのかを確認させ、自分の問題点に気付くことができるようにする。 ○その時に感じたことを発表させる。
インターネットを「たのしく あんぜんに」つかうほうほうを かんがえよう。	
2 めあてを確認し、課題について個別に考える。【さぐる】	2 メタモジを使用し、個々に意見を書かせ、その理由も考えておくように助言する。 ○本時まで学習したことを想起しやすいように、掲示をしていく。 ○できた児童から、自分のページをスクリーンショットし、グループノートに貼り付けるように指示をしていく。
3 グループに分かれて友達に考えを伝える活動をする。【見つける】	3 メタモジのグループ学習ノートを使い、グループ全員の意見を確認させる。 ○グループの司会者を中心に、伝え合う活動をしていく。 ○発表者は、自分の意見を発表し、さらに理由も伝えるよう指示をする。 ○友達のいい考えを見付けられるようにする。
4 インターネットを「楽しく 安全に」使う方法を考え、意思決定する。【決める】	4 友達の意見を聞いて、今までの自分の行動を想起して考えるように助言する。 ○今までの自分の行動の問題点も発表できるようにさせる。 ○その考えにした理由も考えさせる。
5 意思決定の内容を発表する。	5 インターネットを「楽しく 安全に」使用するために、児童の意見を振り返り、確認し、実践しようとする意欲を高める。

(3) 評価

「十分達成できた」と判断される状況	他者の意見を聞くことで、自分の立場に合った安全な使い方の考えを増やすだけでなく、それを基に自分の立場に合った、より安全性の高い使い方を意思決定している。
「おおむね達成できた」状況を実現するための手だて	自分の立場に合った安全な使い方が見付けられない児童には、自分の生活を振り返らせたり、友達の意見を聞いたりして、自ら意思決定できるよう助言する。